

3 やさい 野菜づくりのさかんなところ

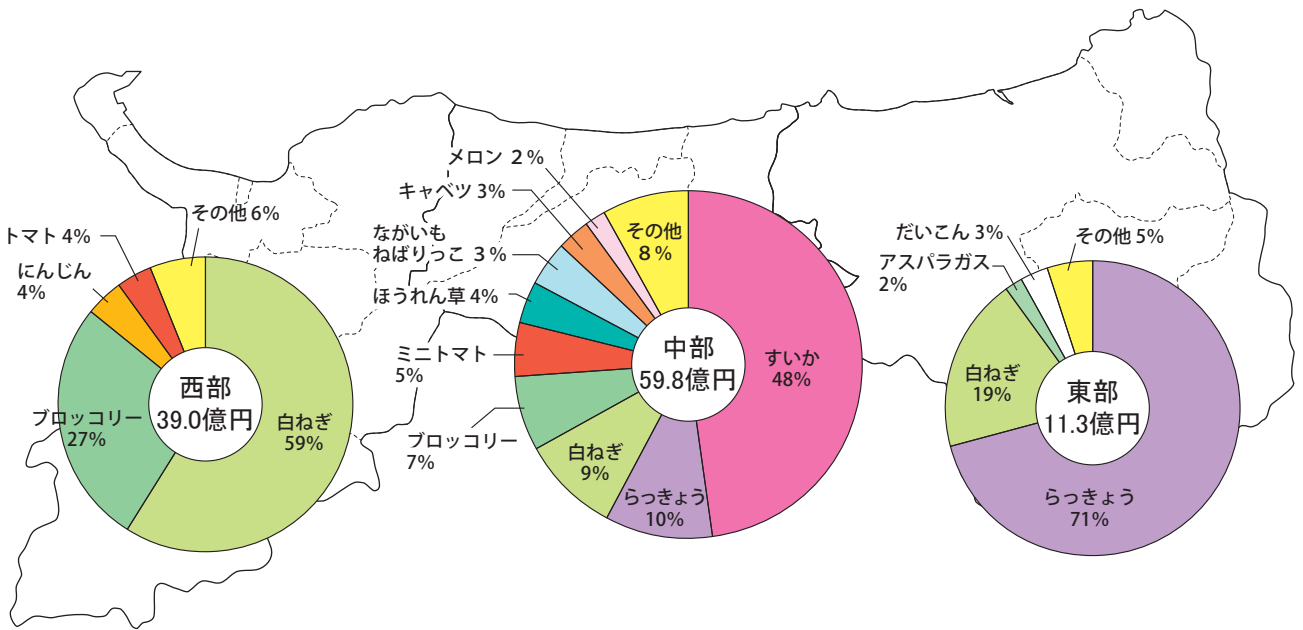
① とっとりけん 鳥取県の野菜づくりの特色 とくしよく

鳥取県では、下のグラフに見られるようにたくさんの種類の野菜しゆるいがつくられています。

野菜づくりがさかんになったのには、次のような理由があります。

- ① 土地にあった作物をつくったこと
- ② きこう 気候をうまく利用したこと りよう
- ③ だいとし 大都市（京阪神）に近いこと けいはんしん
- ④ 大学や試験場しけんじょうといっしょに研究けんきゅうを重ねてきたこと かせ

その結果、けっか 白ねぎ、すいか、ブロッコリー、らっきょうなどは、ゆうすう 全国有数の産地となりました。



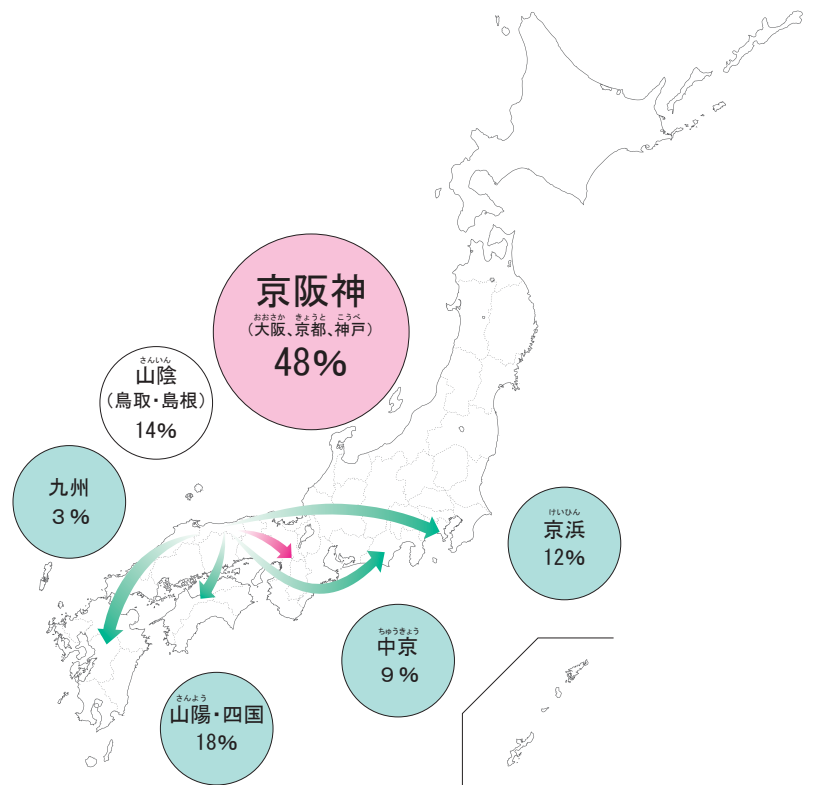
鳥取県の地域別に見た野菜のはん売額 [2017年 / 全農とっとり]

鳥取県でつくられた野菜の半分近くは、京阪神地方しゅつかに出荷されています。

野菜は新鮮さがとても大切です。そのため、しゅうかくからできるだけ短い時間で運ぶために高速道路はここうそくを使います。また、専用の冷ぞう庫せんようれいこを使って野菜を冷やしたのちに、新鮮さをたもったまま各地の市場に送ることもしています。

さらに、野菜を出荷する前に、色・形・大きさ・重さなど、市場にあわせてたくさんのチェックをしています。

このような努力どりょくが実みのって、「鳥取県の野菜はとてもおいしい」というひょうばんになっています。



鳥取県の野菜の出荷先
[2016年 / 全農とっとり]



選果場せんかじょうですいかのチェックほくえいをしているところ (北栄町)



冷ぞう庫でブロッコリーを冷やしているところ (大山町)

①クローズアップ！野菜づくり

ゆみがはま 弓ヶ浜の白ねぎ

すなち
砂地を利用して、味がよく、白色と緑色のバランスのよい白ねぎがつくられています。ひんしゅ品種を組み合わせ、一年中つくられています。また、土をよせる機械やしゅうかくする機械、皮をはぐ機械が使われるようになり、さぎょう作業がとても楽になりました。



ばたけ
弓ヶ浜の白ねぎ畑

ほくえい くらよし ことうら 北栄町・倉吉市・琴浦町のすいか

だいせん
大山のすそ野に広がる黒ぼく地帯は、全国有数のすいか産地で、けいはんしん京阪神を中心に出荷されています。北栄町の「だいえい大栄すいか」、倉吉市の「倉吉すいか」が有名です。琴浦町の「がぶりこ」は、皮が黒いけれど中身は赤く、あまくて種が少ないので「がぶり」と食べられることから名づけられました。



北栄町のすいか畑

大山町のブロッコリー

広い土地とやわらかい土じょうどを利用して、夏をのぞいて一年中、ブロッコリーがしゅうかくされています。しんせん新鮮でおいしいと県外から人気で、ブロッコリーを使った新しい料理りょうりのしかたを本にして人びとに知らせています。



琴浦町のすいか「がぶりこ」



大山町のブロッコリー畑

鳥取市^{ふくべ}福部町のらっきょう

^{さきゅう}砂丘地を利用し、色が白く、^は歯ざわりのよいらっきょうがつくられ、日本一のらっきょう産地となっています。8月に畑に^{ひと}一粒ずつ植えつけ、10月から11月にかけてむらさき色の花が砂丘をいろどります。



鳥取市福部町のらっきょう畑

北栄町のながいも

^{かいがんせん}海岸線にそった砂丘地では、色が白く、歯ざわり、したざわりがよい「砂丘ながいも」がつくられています。最近^{さいきん}は、鳥取県^{とっとりけん}園芸試験場^{えんげいしけんじょう}が育成した「ねばりっこ」という新しいながいもがつくられ、ねばりが強くおいしいと、とても人気があります。



北栄町のながいも畑

日南町^{にちなん}のトマト

夏のすずしい^{きこう}気候を利用して、他の^{ちいき}地域ではつくりにくい時期^{じき}にトマトをつくっています。トマトは雨にあたると^{びょうき}病気にかかりやすいので、雨をよける工夫（雨よけハウス）をしてトマトを守っています。日南町のトマトはおいしいと県外の人にも人気があります。



日南町のトマトハウス



日南町のトマト